

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市梓川アカデミア館			所管課 TEL	美術館 0263-34-7900				
所在地	松本市梓川倭566番地12			設置年月	平成3年1月				
施設設置目的	西部地区の文化施設として、優れた芸術作品の公開展示による芸術文化の振興及び地域の文化財（歴史・民俗資料、民芸品等）の公開展示により教育文化の振興を図る。								
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造（一部2階建）、延床面積1,617.89㎡ 【1F】ギャラリー2室、ロビー、喫茶室（テナント77㎡）【2F】展示室3室 【屋外】芝生広場（1,000㎡）								
指定管理者名（選定方式）	一般財団法人 松本市芸術文化振興財団（特命）								
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日								
指定管理者の 主な業務	(1)観覧及び使用の許可に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)歴史、民俗及び芸術に係る資料の保管及び展示に関する業務 (4)民俗、芸術品等の展覧会及び発表会等の開催に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、館の運営に関する事務のうち市民または教育委員会のみの根限に関する事務を除く業務								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標		利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）			
	ギャラリー利用率	70%		56.4%	80.6%	86.8%			
	施設利用者数（延べ人数）	20,000		19,431	97.2%	74.0%			
	(特記事項)								
事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（令和6年度）				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	16,550,000	指定管理料	17,007,217	公共施設目的外使用料	364,510	公共施設目的外使用料	364,510
		雑収入	0	雑収入	370	観覧料	160,200	観覧料	97,800
						施設使用料	482,020	施設使用料	767,400
	支出 (歳出)					私用光熱水費	608,579	私用光熱水費	582,174
						受講料	59,700	受講料	53,200
		計	16,550,000	計	17,007,587	計	1,675,009	計	1,865,084
		事務費	8,280,000	事務費	8,082,731	指定管理料	17,007,217	指定管理料	16,157,467
印刷製本費		40,000	【内訳】		梓川賞展負担金	800,000	梓川賞展負担金	800,000	
光熱水費		2,200,000	・人件費 7,167,651	・通信運搬 246,128	委託費支出	462,000	委託費支出	240,746	
賃借料		120,000	・消耗品 186,991	・新聞図書 79,200	事務費等	103,400	事務費等	292,974	
燃料費		790,000	・手数料 19,260	・修繕費 206,525	工事請負費	0	工事請負費	1,650,000	
租税公課支出	750,000	・印刷製本 176,976							
委託費支出	4,010,000	光熱水費	3,063,400						
雑支出	10,000	賃借料	100,077						
事業費	350,000	燃料費	659,620						
		租税公課支出	649,400						
		委託費支出	4,146,102						
		雑支出	0						
		事業費	306,257						
計	16,550,000	計	17,007,587	計	18,372,617	計	19,141,187		
損益	0		0		差引	-16,697,608	差引	-17,276,103	
(特記事項)									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書) の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	(1. 0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0. 7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0. 5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0. 0)	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
69.3

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性が確保されており、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	業務従事者の正当な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡や事故状況など緊急連絡網が作成されており問題ない。また、消防署職員のもと防災訓練を実施している。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	館内監視、事故等の際の緊急処置、救護など、来館者の事故を防止するための対策が講じられている。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	市の個人情報保護条例に準じて施設利用申請書等適切な管理が行われている。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当者が会計帳簿により管理しており、決定権者が細心の注意を払い情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	A	決算報告書から判断して経営状況に問題はない。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	美術館施設2館、文化芸術施設3館の施設運営をい行っているため、迅速な対応が可能でサポート・バックアップ体制がある。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	A	設置目的、管理運営業務を適確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	A	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	シフト体制・勤務時間ともに問題なく、管理運営上適切である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	指揮系統と責任権限は明確になっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	年度当初に研修会を実施し、業務の効率化や業務従事者の意識改革等に取り組んでいる。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	服務、会計事務研修や接遇研修を計画的に行っている。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計帳簿によって適切に観覧料や使用料の収受や管理運営の収支がきちんと管理しており、問題は見られない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	清掃業務の一部について第三者との契約に係る勤務表等を確認した結果、適切に実施されている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告や事業報告は適切に作成し期限までに提出されており問題はない。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対応マニュアル、連絡網が整備されており、適切に行われている。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲について適確に把握されており問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を適確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業計画に基づき適切に事業が実施されているものの、さらなる利用率の向上を目指す事業展開を検討されたい。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	関係団体等と良好な関係を保っている。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	利用者団体、マスコミと連携しながら積極的に取り組んでいる。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	適切な施設・設備の維持保全、ホスピタリティの向上に努めており、利用者アンケートでも高い評価を得ている。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	接遇研修が行われており、障害者、子ども、高齢者の利用に問題はない。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者アンケートは実施しており、業務改善を図っている。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	管理実績報告書から日常的なセルフモニタリングが行われていることが確認でき問題はない。
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	A	ゴミの分別を徹底しており、施設利用に応じて電気を消灯するなど節電等の省エネ対策に積極的に取り組んでいる。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	自らが施設修繕等を実施することで経費の削減を図っているものの、施設老朽化が進んでおり限界がある。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画どおりの事業を実施しており支出総額に問題はない。

3 利用者による評価
(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	施設利用者
	調査方法	利用者及び利用団体へのアンケート
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	(1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。 (2) 1階のアクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放するなど、施設利用者の満足度向上を目指しました。 (3) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために館内外の美化に努めるとともに、親切・丁寧・素早い対応を心がけました。
要望・苦情への 対応状況	(4) 幅広い年齢層を対象としたワークショップを各種開催し好評でした。とくに令和6年度に新しく学都松本推進事業の一環として開催した、未就学児を対象とした連続講座「アートのABC」は、申込枠が即日埋まるなど、反響の大きいものとなりました。
今後の目標	(1) 西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれる、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。 (2) 同じ指定管理者が管理している他施設と連携した事業の展開を企画し取り組みます。 (3) 波田・梓川地区に配布している「アカデミア館便り」の発行やプレスリリースを継続するなど、積極的な情報発信に努めます。

5 市(所管課) による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A (1. 0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B (0. 7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C (0. 5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D (0. 2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】
(1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるよう働きかけている。「みんなのアトリエ」は美術愛好家の皆さんの気軽な発表の場として定着してきており、令和6年度は14件の利用があった。
(2) 地域の解説ボランティア5名が、民俗資料説明コンシェルジュとして活躍している。来館者と地域住民との交流促進、高齢者の生きがいづくりにつながっている。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】
設定なし

【総合的な評価】
(1) 利用者アンケートの結果から、館運営に対しては好意的な意見が多い。施設は老朽化しているが、清掃が行き届いており、清潔感があるところは評価できる。
(2) 展示事業のほか、工夫を凝らしたワークショップを開催し、参加者の多角化・多様化に努めている。
(3) 館活動の情報発信を、自前の媒体（アカデミア館便り）に加えマスコミ等の協力を仰ぎ実施しており、積極的な広報展開が評価できる。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
76.3

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
良 好

【別紙】
3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日
	調査対象	施設使用者（23件）・来館者（18名）
	調査方法	アンケート
調査結果	≪施設使用者アンケート（回答23件）≫ ●使用目的：絵画(3)、写真(1)、音楽発表会(5)、コンサート(3)、その他(7) ●館全体の評価：「良い」(1)「やや良い」(1) ●職員対応：「良い」(2) ●館内の清潔さ：「良い」(2) ●今後の利用意向：「利用したい」(21)、「検討する」(0)、「利用しない」(0) ●使用料金：「ちょうど良い」(15)、「高い」(2)、「安い」(0) ●みんなのアトリエ評価 ・利用希望理由：画鋸が使用可能で展示の幅が広がる、サポートが充実 ・推薦意向：全員が「勧めたい」と回答 (理由：市内での発表の場が少ないため、無料なので展示しやすい) ≪来館者アンケート（回答18名）≫ ●年代：50～60代(10)が最多、次いで30～40代と20代が各3名 ●住まい：松本市(7)、安曇野市(5)、長野県内(3)、県外(2)、梓川地域内(1) ●来館回数：初めて(7)、2～4回(3)、5～9回(4)、10回以上(4) ●来館目的：ギャラリー展示(12)が最多、次いで絵画・彫刻(6) ●良かった展示：ギャラリー展示(7)、歴史・民俗資料(4)、絵画・彫刻(4) ●希望する展示：絵画(7)が最多 ●サービス評価 ・職員対応：「非常に良い」(7)、「良い」(7)、「普通」(2) ・清掃状況：「非常に良い」(10)、「良い」(6)、「普通」(1)	
利用者からの意見 要望・苦情等	・入口に料金案内の表示 ・男子トイレの洋式増設 ・受付か入口に案内が無いので料金を支払わずに入ってしまった。案内が必要だと思う。 ・きれいだった。また来館したい。 ・梓川賞展素晴らしいことをやっている。ただ、子供の作品が多すぎるせいなのか、展示の上の方が見にくくて気の毒です。	